



平成27年5月15日

各 位

会 社 名 株式会社 新日本科学
代 表 者 名 代表取締役会長兼社長 永田 良一
(コード番号：2395 東証一部)
問 合 せ 先 代表取締役副社長 関 利彦
(TEL:099-294-3389)

**業績予想と実績の差異に関するお知らせ並びに
営業外収益、営業外費用、特別利益及び特別損失の計上について**

平成27年2月13日に公表しております平成27年3月期（平成26年4月1日～平成27年3月31日）の業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。また、平成27年3月期において下記の通り営業外収益、営業外費用、特別利益及び特別損失を計上いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成27年3月期 業績予想と実績との差異について

(1) 連結業績予想数値との差異（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	17,965	△805	8	△956	△24.03
実 績 値 (B)	17,835	△636	155	△1,385	△34.83
増 減 額 (B-A)	△129	+168	+147	△429	
増 減 率 (%)	△0.7	—	+1,845.9	—	
(ご参考) 前年同期実績 (平成26年3月期)	16,926	△723	△154	△754	△20.11

(2) 個別業績予想数値との差異（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	13,360	2,050	△730	△18.35
実 績 値 (B)	13,274	2,460	△969	△24.38
増 減 額 (B-A)	△85	+410	△239	
増 減 率 (%)	△0.6	+20.0	—	
(ご参考) 前年同期実績 (平成26年3月期)	12,563	1,728	△403	△10.74

(3) 差異が生じた理由

(a) 連結

業務効率化や経費の削減にグループを挙げて取り組んだため、経常利益は前回予想を上回りました。一方、下記の通り減損損失を計上することとなったため、当期純利益は前回予想を下回り、上記の通り差異が生じました。

(b) 個別

連結と同様の理由です。

2. 営業外収益（為替差益）の計上について

平成27年3月期において、昨今の為替相場の変動により、営業外収益に為替差益1,229百万円（連結決算、個別決算では1,240百万円）を計上いたしました。これは、主に平成27年3月期末時点における外貨建資産・負債を同日の為替相場で評価したことにより生じたものです。

3. 営業外費用（持分法による投資損失）の計上について

平成27年3月期において、主に持分法適用関連会社であるWAVE LIFE SCIENCES PTE. LTD. の業績に基づき、持分法による投資損失321百万円を計上いたしました。

4. 特別損失（減損損失）の計上について

平成27年3月期において、当社が所有するメディポリス事業に係る事業用資産（建物等）について「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき将来の回収可能性を検討した結果、減損損失として477百万円を特別損失に計上いたしました。

5. 特別損失（契約清算損）の計上について

平成27年3月期において、当社の米国子会社が締結していた実験用動物購入契約に基づく前渡金が契約終了に伴い契約条項に基づき回収できないこととなったため、53百万円を特別損失に計上いたしました。

6. 特別利益及び特別損失（個別決算）の計上について

平成27年3月期において、当社の香港の連結子会社について、財政状態及び業績状況を勘案して前年までに計上していた投資損失引当金を一部戻入れることとし、268百万円の戻入益を計上いたしました。

一方、当社が保有する関係会社株式のうち、時価が著しく下落しその回復があると認められないものについて、減損処理による関係会社株式評価損1,986百万円を特別損失に計上することといたしました。また、当社の連結子会社について、将来業績が回復していく可能性を認識しつつも当該子会社の財政状態及び業績状況を勘案し、健全性の観点から関係会社貸倒引当金繰入額174百万円を特別損失に計上いたしました。

なお、上記の投資損失引当金戻入益、関係会社株式評価損、および関係会社貸倒引当金繰入額については、いずれも連結決算においては消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

以 上